

は、「2014年に岡山市町村振興協会が開いた、新たなメンタルヘルス対応についての研修会に参加したこと」だったという。

「それまでは、課長や補佐クラスの職員が、限られた時間のなかで、体調不良に陥った職員とそれぞれのケースごとに個別に向き合う必要があり、よりきめの細かな対応ができる良い方法がないかと思案していたところ、高尾医師のメソッドに出会った」

当時は、職員数が定員適正化計画を基に減少してきたなかであっても、以前に比べれば徐々に回復傾向にあったものの、職員一人ひとりにかかる負担の声が上がりがやすい時期だった。城井係長は、「そうした状況下で、多い時は5、6人が休職しており、その一部は再度のメンタル不調に陥ることで、休職と復職を繰り返している状態。どうにかして休職者を救いたいと、服務命令は出さず休職のまま出勤する形をとる『復職支援プログラム』を試しに行ってみた経緯があった」と振り返る。

同制度は、本人との話し合いのなかである程度、復職の目的が立った段階で職場に慣れる目的で職場に来るもの。ただし、出勤ではないので、上司には「来ても何も業務を指示しない」よう伝えておく。しかし、「当人からしたら、何もすることがなく手持ちぶさたな状態。目的を理解しているものの、心理的には『でも、何かしなくては』となり、かえってプレッシャーになってしまうとともに、何かあったときの公務災害補償の面でも、課題があるものだった」。

職員組合からもメンタル不調者への対応の要望が

メソッドの導入段階では、休職者を所属に抱える部長・課長に対しては、「市町村振興協会の行う事業の一環として、

事業説明会の形で全員出席の下、高尾医師を招いて解説してもらったため、試運用に入りやすかった」。また、試運用を行うなかで、職員組合からも問題提起が寄せられた。

「職員組合は以前から、人員不足による業務過多と、その原因の一つでもある他団体への一方通行的な出向を問題視しており、新規採用等での要員確保を求められていた。それに加え、職場における実質の職員減となるメンタルヘルス不調の職員についても、『なんとかならないものか』と訴えてきた恰好。そうした意向も踏まえ、試運用の説明を行ってきたなかで、職員の分限に関する指針の作成にあたり、メソッドの概要を掲載するに至った」

休職者の状況が可視化して他の実感も

玉野市がメソッドを導入して5年――。城井係長は「現在の休職者の状況を確認しているわけではないが」と前置きしつつ、「復帰準備完了確認シートや行動記録表を基に、メンタル不調者の療養具合が可視化されたことで、面接時においても状況が聞き取りやすくなり、復帰準備期のなかでも前半にいるのか後半にいるのか等の目的が立ちやすく、上司も限られた時間のなかで最終判断しやすかった」と話す。

また、部下職員に係る面でも、「休職者数はすぐに数字として反映があるものではなく、当時、微増微減で推移していたが、例えば給与処理の実務担当職員が毎月の給与処理時に、『メンタル不調者への突発的な給与処理件数が最近減っていますね』といった声を上げるなど、休職者が十分に療養したり、休・復職の突発的な繰り返しが減ることによって、細かい部分でも実感として感じることは多々あった」と受け止めて

いる。

なお、城井係長が異動した後も、「メソッドに基づいた対応をするなかで、あせらず治療に専念し、自己理解を進めたいと、新たな道に踏み出したケースがあった」といった話も聞いている。今後については、「メソッドを活用していくなかで、本市で働いている職員に『療養に専念できる自分たちは守られている』とのイメージを持ってもらえるようにできたら」と願う。現状はまだ、「休む＝悪いこと」と捉える人の方が多いからだ。

人事異動等で再周知の必要が

一方、課題はメソッドの再周知を徹底すること。導入時には前述したように休職者を所属に抱える管理職の意識が統一できていたが、時を経て、人事異動や新しく管理職に昇格した人も増え、対応に違いが出てきているからだ。

「試運用が思ったよりうまくできたことで、その後の周知等に不足があった点は否めないが、本市は職員同士の顔の見える規模なので、人事課に情報が上がってメソッドを適用する前に、所属の職員間で何かしらの対応をしてしまうケースが出てきている。そこをきちんと統一するなかで、各職員に『休んでもいいんだ』『病気になっても、しっかり治して復帰したらいいんだ』と考えてもらいたい」

玉野市 概要

2018年12月1日時点

市	長：黒田 晋
人	口：60,079人 (27,727世帯) (2018年3月31日現在)
職	員 数：
	内訳：正規職員：746人 (再任用職員含む)
	臨時職員：約500人 (非常勤一般職)
	嘱託職員：約100人 (非常勤一般職)
労働組合：	①玉野市役所職員組合
	②岡山県自治体一般労働組合玉野支部